

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	子どものまち推進事業		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市子どものまちづくり推進協議会活動費補助金交付要綱 鳴門市子ども・子育て支援事業計画	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="28"/> 14 年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと			終期
(小項目)		子どものまち			
施策	1	地域で子どもを育てる活動支援			
基本事業	3	子どもがすくすく育つまちづくり			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市子どものまちづくり推進協議会を通して、子ども関係グループ・団体及び関係機関が相互連携を図りながら、子どもたちの主体的な活動を支援し、子どもが主役の「子どものまちづくり」を推進する。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	・第14回子どものまちフェスティバル(H28/10/16) ・なんと再発見子どもバス(H28/11/19) ・ホリデーフリーバス事業 ・子どものまちづくり指導者養成講座(H29/2/26)						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		子どものまちフェスティバル参加者数	10,000	10,000	12,000	12,000	12,000	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	「子どものまちフェスティバル」を、子どものまちの主体的な体験活動の事業として「鳴門のまつり」と共催で開催している。28年度は、ポートルース鳴門の「なるちゃんワールド(エア遊具)」を出張開設したことで、子どもたちから好評を得た。鳴門市子どものまちづくり推進協議会については、地域でのネットワークづくりを推進していくため、新たに地域で積極的に子どものまちづくりに取り組んでいただける団体等について、加入各団体に情報提供や周知をお願いしている。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	子どものまち推進協議会加入団体(市・市教委を除く)	65	66	66	66	66	団体
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	子どものまちフェスティバル参加者数		10,000	12,000	-	-	-	人
	目標達成率(実績/目標)			120.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	60	498	558
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	60	498	558
		決算額	0	0	0	24	411	435
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)		総人件費		総事業費
		0.2	0.0		1,427		1,862	

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	368	435	723	723	723
	うち一般財源	341	411	663	663	663
	人件費	1,372	1,427	1,427	1,427	1,427
	総事業費	1,740	1,862	2,150	2,150	2,150

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		「鳴門のまつり」の関係機関・団体及びポートレース鳴門と連携がとれたことで、参加者の増加に繋げることができた。活動も充実し、幅広い広報活動にも取り組めた。 鳴門市子どものまちづくり推進協議会の多くの団体の協力を得て伝統的な遊び、子どもたちの主体的な体験活動を支援しフェスティバルは盛況だった。
	効率性	B:概ね効率的だった		
②成果に対する評価	指標名	子どものまちフェスティバル参加者数		「鳴門のまつり」と同時開催になり、参加者の人数が増えている。各コーナーも盛況で、大勢の親子が体験活動を楽しんだ。 本市最大規模の子育てイベントであり、市民に定着している。毎年多くの子育て家庭が来場し、親子でイベントを楽しむほか、各地域団体と子育て家庭とのつながりを創出している。
	目標	10,000	人	
	実績	12,000	人	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成27年度より開始時間を2時間早め、10時～15時とした。平成28年度「子どものまちフェスティバル」は好天に恵まれ、来場者数が「鳴門のまつり」も含め約1万2千人となった。ポートレース鳴門の「なるちゃんワールド」が設置されたこともあり、来場者数は昨年よりもさらに増加した。平成27年度から塩田公園の駐車場を臨時駐車場としているが、それでも駐車場が不足した。会場までシャトルバスによる来場者の運送を行っているが、今後の来場者数の動向によっては、さらなる駐車場の確保や警備員の拡充、シャトルバスの増便を検討する必要がある。今後も、参加者・関係団体の意見を取り入れながら実施していく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	関係機関・団体と連携し、子どもたちの主体的な体験活動の支援や体験活動の充実を図ると共に幅広く広報を行うとともに、市制施行70周年記念関連イベントとして事業を実施することにより、参加者の増加を図り、子育て支援に参画できる環境づくりに努める。			
	H30年度	関係機関・団体と連携し、子どもたちの主体的な体験活動の支援や体験活動の充実を図ると共に幅広く広報を行い、参加者の増加を図る。			